

自律ある個人が夢を実現 相互に協働し活動を継続 地域・社会の発展に貢献

個別指導の充実

- 一人ひとりの習熟度に応じた少人数の授業を展開します。
- 個々のニーズに応じて、個別の指導を充実し学力をのばします。
- 2学期制を実施し、必要な時期に必要な科目を集中して学ぶスタイルをつくります。

2つの系列と課題探究

- 2・3年次では、「探究」・「地域産業」の2つの系列を設置します。
- いずれの系列も、卒業時には課題探究に取り組み発表します。

大学進学コースの設置

- 1年次の後期から大学進学コースを設置します。
- 数学と英語の時間を増やし、7時間目に授業を実施します。

学習群と実践体験

- 「地域産業」系列には、3つの学習群を設け、将来の職業に繋がる学びをサポートします。
- 農業経営者や保育所、福祉施設等の事業所など、地域の方々と連携して実践的な時間を多く設定します。

英語4技能の伸張

- 「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の活用力を、留学生との交流やオールイングリッシュの授業を通して高めます。
- 英語でディスカッションする、課題解決を提案するなど、国際的素養と実践力を育成します。

多様な人と交わる学校生活

- 修学旅行は、マレーシアでの研修や交流を実施します。
- 約20のクラブが、小人数ながら単独で他校と交流して活動します。
- 校内で留学生と、ささゆり学園の児童・生徒と、地域の方々と、様々な場面で緊密な繋がりをもって交流します。

グローカル人材の育成

- ユネスコスクールとして、マレーシアの姉妹校や国内外の大学やNPOとの、連携や交流を充実させます。
- スーパーグローバルハイスクールの取り組みをふまえ、グローバルな視点で地域課題を検討し、その解決策を考え実践する人材を育成します。

豊中本校との連携

- 本校の進学指導や英語などの教科指導のノウハウを共有したり、本校で実施する土曜講習等に分校生が参加することで、学力の充実を図ります。
- SGH活動では、相互の意見交換やプレ発表会等を実施することで、国際理解教育を推進します。
- 両校生徒会の交流やクラブ活動の交流などにより、生徒同士の連携を図ります。
- 本校と分校間の連携のため、IT技術を活用した「ネット教室」の設置を検討しています。

○ 探究系列 ○

- 大学進学をめざす生徒を対象に、演習科目等を通して、必要な学力を育成します。
- 2・3年次は、週2日、7時間目授業を実施します。
- 選択科目の例……「現代文演習」「古典演習」「日本史B」「数学Ⅲ」「理系数学演習」「物理」「化学」「生物」「英語長文読解演習」「英語構文演習」

○ 地域産業系列 ○

- 3つの学習群を設け、将来の職業に繋がる科目を学習し、地域の発展に貢献できる力を育成します。
- 食農流通・農業の六次産業化の実践に触れ、自立した農業を学ぶ。
「果樹」「くらしと動物」「食用作物」「食産加工と商品開発」
- 対人支援・地域の施設等と連携し、体験を通じて保育や福祉を学ぶ。
「子どもの発達と保育」「生涯発達論」「社会福祉基礎」「子ども文化」「福祉総合実習」
- 地域活性・能勢の自然や文化について理解を深め、地域資源を活かす方法を学ぶ。
「地域の歴史と文化」「地域の環境と科学」「観光」「情報デザイン概論」「地域と観光」

能勢分校選抜について

- 募集定員 **70名** [能勢・豊能地域選抜20名を含む]
出願：2月14日(水)・15日(木) 検査・面接：2月20日(火)・21日(水)
- 選抜資料 5教科（国語・社会・数学・理科・英語）の学力検査、調査書、面接、自己申告書
- 選抜の種類と配点
 - ①本人・保護者の住所が能勢町又は豊能町にある者 [能勢・豊能地域選抜]
総合点 750点 ([学力検査 225点] + [調査書、面接、自己申告書 525点])
 - ②本人・保護者の住所が府内にある者
総合点 1,050点 ([学力検査 525点] + [調査書、面接、自己申告書 525点])
- 選抜の観点 調査書、面接、自己申告書は、アドミッションポリシーをふまえて評価する
<アドミッションポリシー>
 - ①将来、能勢・豊能地域の発展に貢献するために意欲をもって学習に取り組む生徒
 - ②大学等への進学に対応できる学力を身につけ、課題について英語で議論できる力をつけてグローバルに活躍することをめざす生徒
 - ③学級活動や学校行事、地域との交流、部活動などに、仲間と協働し、積極的に取り組む生徒
- 合格者の決定 それぞれの選抜で、総合点の高い者から合格者を決定する。いずれか一方の選抜が募集定員を下回っている場合は、合計が70名となるようにする。